広報ぬまた 10月号

2013.9.26 No.572

8月 24 日（土）夜高あんどん祭りフィナーレ

今月の主な内容

★夜高あんどん祭り・・・・・2
★農業体験修学旅行生受入・・6
★まちのニュース・・・・・・8
★ふれあいＩＮＦＯ・・・・・15
★沼田消防から（消報）・・・・16
★沼田警察署から・・・・・・17
★生涯学習ゆめっくる・・・・18
★図書館から・・・・・・・・19

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！
また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。

北海道沼田町
フェイスブック公式ページ
facebook

完全燃焼の2日間!!

夜高あんどん祭り

YOHTAKA ANDON FESTIVAL

8月23日（金）24日（土）の2日間、第37回目となる北海道三大あんどん祭り「沼田町夜高あんどん祭り」が開催されました。

雨模様に悩まされる中、2日間で延べ約3万9千人（1日目約8千人、2日目約3万1千人）の観光客が沼田町を訪れ、勇壮華麗、大迫力の北海道唯一の喧嘩あんどん「夜高あんどん」を存分に楽しみました！

最大の見せ場！　大型あんどん同士のぶつけ合い

出陣式　さあ行くぞ！

沼田町出身のお笑いコンビ「ピグマリオン」が前夜祭の司会を務めました。

カナダ・ポートハーディー地区訪問団の皆様で祭りをもりあげてくれました。

小矢部市の皆様も応援に来て下さいました。

保存会主催　夜高あんどんコンクール結果

大型あんどんの部

金賞　役場あんどん連
銀賞　農協あんどん連
銅賞　商工会あんどん連
　　自衛隊あんどん連

中型あんどんの部

金賞　中学校あんどん連
銀賞　小学校あんどん連
銅賞　幼稚園あんどん連
　　保育園あんどん連

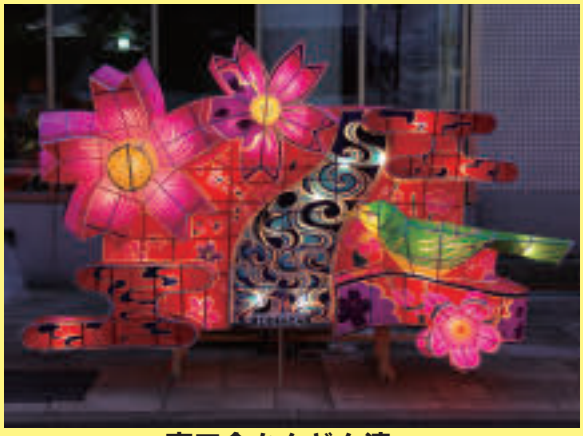
役場あんどん連

中学校あんどん連

保存会主催　吊りあんどんコンテスト結果
今年のテーマは「桜」でした

保存会長賞　自衛隊あんどん連
参加賞　商工会あんどん連・役場あんどん連・農協あんどん連

自衛隊あんどん連



商工会あんどん連

役場あんどん連

農協あんどん連

前夜祭

来場者同士の交流が図れました

8月22日(木)に「夜高あんどん祭り前夜祭」が役場前駐車場で行われました。

夜高あんどん祭り前夜祭は、平成13年度に沼田町観光協会が、夜高あんどん祭りの成功と町民の交流を図る場を設ける目的で始めました。

会場では、出店があり、吊りあんどんも飾られ、ステージでは「夜高太鼓」の演奏や、お笑い芸人「ピグマリオン」と「クマップ」が、町内外から来た来場者の笑いを誘い、盛り上がりを見せました。

また、カナダのポートハーディー地区訪問団と学生ボランティア「テスク&祭人(てすくあんどまつりんちゅ)」の皆様が、それぞれステージ上で紹介され、祭りへのムードも高まりました。

最後は、恒例の吉住敏夫夜高あんどん保存会名誉会長のご発声により閉会となりました。

色塗り体験

小旗に色を塗りました

8月24日(土)に「色塗り体験」が吉住商店倉庫で行われました。

当日は、天候の影響で、会場が変更されましたが、多くの観光客が、「匠の会」会員の指導により、真剣な眼差しで色塗りをしていました。

あんどん練行体験

あんどんに触れました

8月24日(土)に「あんどん練行体験」が本通3丁目特設会場で行われました。

会場では、たくさんの観光客が、商工会あんどん連と役場あんどん連のあんどんを押し、日頃は味わえない体験をしました。

10年ぶりに夜高あんどん師が誕生

8月24日(土)に「夜高あんどん師認定式」が本通3丁目特設会場で執り行われました。

夜高あんどん師認定制度は、平成9年度に沼田町夜高あんどん保存会が制定した制度で、沼田町夜高あんどん祭りを将来にわたり、正確に我が町の伝統文化として残す為、特に功績のあった町民を「夜高あんどん師」として認定するものです。

夜高あんどん師は、平成15年度に認定があって以来、過去10年間にわたり認定者が不在であり、この度、役場あんどん連から前田昌清さん、自衛隊あんどん連から久本伸生さんの推薦があり、夜高あんどん保存会が最適任者として認定しました。

いつまでも笑顔でお元気で

第40回沼田町敬老会

沼田町と沼田町社会福祉協議会の共催による第40回沼田町敬老会が9月8日（日）町民会館で行われました。

約３００人の参加者は、金平町長から「皆さんがいつまでも元気で沼田町に住み続けられるように、まちづくりを進めていきたい」と挨拶、そして、杉本議長より「これからも先輩達から、いろいろ学びたい」、吉住商工会長に「２０２０年の東京オリンピックを観に行けるように元気でいて下さい」と祝辞をいただいた後、篠田名誉町民のご発声により祝宴を始めました。

その後のアトラクションでは、沼田保育園児の「太鼓演奏」や役場健康運動指導士による「座ったまま体操」、深い呼吸によって体と脳にたくさんの酸素を取り入れる事が出来る「笑いヨガ」、最後に恒例の「歌謡ショー」といった盛りだくさんの内容に、参加者同士が楽しみながら、交流を図っていました。

最後に、黒田北いぶき農協専務の万歳三唱の後、閉会しました。

ありがとうございました

ふるさとづくり基金へ寄付

久保寛さん（市内1東）

本年春の叙勲旭日双光章を受章された、元沼田町議会議員の久保寛さんから、８月６日ふるさとづくり基金に２００万円の寄付がありました。

上机榮さん（沼田第４）

本年旭日双光章を受章された、元沼田町議会議長の上机榮さんから、８月29日ふるさとづくり基金に１００万円の寄付がありました。

農業体験修学旅行生を受入
沼田農業の応援団に！

9月10日（火）～11日（水）の2日間にわたり、大阪市立西高等学校2年3組の10名が沼田町で農業体験を行いました。

今回の受入農家は、深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町の農業体験受入組織「元気村・夢の農村塾」に入会している植木和美さん（高穂2）、辻則行さん（更新）、横山昌利さん（共成）の3軒でした。

1日目は、14時から、深川市のきたそらち農協営農センター前駐車場で、対面式があり、元気村・夢の農村塾の会長から「楽しく、ケガのない2日間にして下さい」、同じく担当者から「農機具を扱う時や体調が悪い時は、必ず農家さんに言って下さい」と挨拶がありました。

総勢38名のうち、植木農場へ3名、辻農場へ3名、横山ファームへは4名が、緊張の中、挨拶を交わして、各家庭へ移動しました。

横山ファームの生徒達は、稲刈りの作業をしながら、和子さんが農家に嫁いだ経緯や息子さんが農業を継いだ話を聞いていました。

また、畑に移動して、じゃがいも、玉ねぎ、枝豆の収穫作業を体験し、土の中から掘れる作業に驚きながら『青空レストラン（日本テレビ系列で放送されている、料理をテーマとしたグルメ・紀行・バラエティー番組）みたい！』『北海道最高！』と歓声をあげていました。

植木農場では、とむとむ広場に移動し、10日に行われたまちなか賑わい夕市事業「夕市」に、千鶴さんが所属する出店に販売体験をし、地元の人々とのふれあいを楽しみながら、会場を盛り上げてくれました。

また、神社まで足を運び、秋祭りの餅まきにも参加して、楽しんでいました。

2日目は、12時50分に、深川市のきたそらち農協営農センター前駐車場で、お別れ式があり、その後、バスで道東まで移動する日程でした。

朝9時頃、植木農場の生徒達が、玉ねぎを一輪車に集めて、運ぶ、収穫作業の手伝いをしていました。作業が進む喜びを感じ、集中して打ち込み、汗も浮かんでいました。

「暑いけど、大阪よりは涼しいです」、「昨日の夕食は、チャンチャン焼きとジンギスカンを初めて食べました」と話してくれました。

辻農場では、メロンの皮についた汚れを拭き取り、重さを測る出荷作業を手伝っていました。

よし子さんは「手伝ってくれると、大変助かります」と教えてくれました。

「北海道に初めて来ました。楽しいです」と感想を伝えてくれました。

横山ファームに行くと、キノコと大根の収穫作業をしていました。

生徒達は、哲雄さんが「キノコの大きさは、10年に一度の大きさ」と話していたのを聞いて、喜んでいました。

昨日の夕食は、家族全員とジンギスカンを食べ、交流を楽しみ「星がきれいでした」と話してくれました。

お別れ会では、「元気村・夢の農村塾」を代表して、辻よし子さんが「将来、様々な職業に就くと思いますが、多くの職業が、農業に携わっているので、この体験を忘れないで下さい」と挨拶をされました。

最後に生徒代表から「大阪では味わえない体験が、たくさん出来て楽しかったです。また、北海道に来たいです」とお礼の言葉を述べた後、各家庭で別れを惜しんでいました。

受け入れ農家の皆さんは、「将来、自分達の後を継ぐ、息子や孫の世代の為に、農業の応援団を増やしたいです」、『おもてなし』の心で接すると共に、収入源の一つとして取り組んでいます」、「保健所等の許可申請の手続きが大変でしたが、高齢化等で受入農家が減少しているので、一緒に活動する仲間がほしいです」と話してくれました。

まちのニュース
Numatatown News

まちのニュースは、沼田町公式ホームページからでもご覧になれます。Facebook ページもありますので、そちらもご利用下さい。

会場には２０００人

サッポロビアガーデンで夜高あんどん祭りをPR

沼田町の一大イベント北海道三大あんどん祭り「夜高あんどん祭り」のＰＲを８月２日（金）札幌市の大通公園で行われているビアガーデンで行いました。

ＰＲを行った会場は、サッポロビールのブースで毎年ＰＲさせていただいています。ステージ上には、サッポロビールのために特別に商工会あんどん連が作成したあんどんが飾られ、その美しい姿に司会者も絶賛していました。

サッポロビールの会場には、約 2,000 人の人達がビールを飲んで楽しんでいましたが、会場の大きなテレビ画面で夜高あんどん祭りの模様が放送されると、お客さんはジョッキを持っていた手を休めＶＴＲに見入っていました。

ステージＰＲでは、神副町長から夜高あんどん祭りに関する問題が３問出され、正解した方々に景品の雪中米が配られました。

暑い夏にウィンタースポーツ!!

真夏の雪まつり「雪夏祭」開催

全国的にも珍しい、真夏の雪まつり「雪夏祭（せっかさい）」（主催ゆきものがかり等）が、８月３日（土）北竜地区にある雪の貯蔵施設、沼田式雪山センターで行われました。

朝は、雲が多く薄暗い中でしたが、競技が始まってからは雲一つ無い青空のもとスノーボードやスキー、雪合戦の選手が、競技に挑みました。

会場には、貯蔵してある天然雪で作られた高さ約８ｍの雪山が登場し、参加者は、ジャンプや回転などのテクニックを披露。雪合戦会場では、地元中学生野球部なども参加し、応援する保護者などから大きな声援があがっていました。

このほか、初めての試みである、氷水に落ちる一歩手前で止まる距離を競う「雪氷チキンレース」や昆虫採取などのイベントでが行われました。

このイベントは、町の活性化を願う町内の異業種の若者が集まり今回で４回目を迎えるもので、その若者達が「ゆきものがかり」という正式な組織を立ち上げ活動しているひとつの事業です。今年は滝川市などからもこのことに共感した若者がスタッフとして加わるなど、沼田町内に収まらず広い範囲で「何かをやりたい」という思いから輪が広がっています。

沼田町の「雪」の活用をＰＲするこの雪夏祭は、単に沼田町のＰＲするに留まらず、スタッフであるこれから沼田町を背負っていく若者たちの連携が、今後の沼田町の活性化に大いに貢献することでしょう。

いざという時のために

救命講習会が行われました

なんらかの事故に遭遇した時に焦らず対処できる応急手当を身に付けるため、沼田消防支署主催の普通救命講習会が、８月３日（土）ふれあい会議室で行われました。

受講者は、沼田消防支署の中村司令補からいざという時の止血法や、ＡＥＤの使用方法などを実際にやってみるなどわかりやすい説明を聞き、参加者からは「数回受けたことがあるが、確認の意味も込めて今回受講した。多くの町民の皆さんが受講した方が良い」と感想を述べていました。

まちのニュース
Numatatown News

沼田町で初めて開催

Ｂ＆Ｇ北海道ブロックスポーツ交流交歓会「水泳の部」

沼田町で初めての開催となる「Ｂ＆Ｇ北海道ブロック」の水泳大会が８月４日（日）沼田町Ｂ＆Ｇ海洋センターで行われました。

競技に先立ち、ゆめっくるの２階会議室で行われた開会式には、道内 12 の市町から小中学生の選手 100 名と保護者約 50 名が参加し、金平町長が挨拶で「水泳の世界選手権も開催されています。今日参加される皆さんも世界ではばたく選手になってほしい」と挨拶。その後参加者は、Ｂ＆Ｇ海洋センタープールに移動し、それぞれの競技にいどみました。

沼田町への純粋なアイデア

青山学院大学の学生が沼田町について議論

沼田町にある法務省の更生施設「沼田町就業支援センター」で就業体験をするため、青山学院大学の学生たちが、８月４日～７日の日程で沼田町を訪れました。

これは、町ぐるみで少年達に対する就労支援の取り組みを学生達に知ってもらおうと、法務省保護局と青山学院大学、沼田町が７月 26 日に就業体験協定を東京で締結し、さっそく今回の来町となったものです。

滞在期間中、町内の雪の施設などを見学し、それらを踏まえ沼田町のまちづくりの議論をしたあと、町内の明日萌の会などのボランティア団体と意見交換も行い、参加したボランティア団体の代表らは生の声を学生達に伝え、各団体の活動について学生達は深くうなずいていました。

子ども達の安全を見守ります

沼田っ子サポーター研修会が行われました

青少年の健やかな成長や安全対策、非行防止のために多様な活動を展開している「沼田っ子サポーター」の研修会が、８月９日（金）ゆめっくるの会議室で行われました。

沼田警察署の山崎生活安全係長を講師に迎え、参加した 18 名は熱心に活動の注意点などを聞いていました。

山崎係長は講話の中で「沼田っ子サポーターが、活動をしているんだということを知ってもらうことが大事。そのことによってこの活動を後押ししてくれます。皆様方の活動に感謝しています」と述べていました。

まちのニュース
Numatatown News

気軽にご相談ください

沼田町身体障がい者者相談員及び沼田町知的障がい者相談員委嘱式

沼田町身体障がい者相談員及び沼田町知的障がい者相談員に共成の大堀信義さんが、８月９日（金）委嘱されました。

以前までは、北海道知事からの委嘱でしたが、委嘱事務が市町村に権限移譲されたことに伴い、金平町長からの委嘱となりました。

委嘱状を受け取った大堀さんは「相談業務を 25 年ほどやっているが、難しい問題もある。行政とよく相談しながらやっていきたい」と語っていました。

沼田町バスケットボール連盟創立 50 周年事業

札幌山の手高校バスケ部等の練習ゲーム

沼田町バスケット連盟（飯田恭司会長）の創立 50 周年を記念した公開練習ゲームが、８月 17 日（土）町民体育館で行われました。

沼田町バスケット連盟は昭和 38 年設立され、その間、町内の青年で作る沼田青年団が全国青年大会に出場でするなどの伝統があります。

この度は、ジュニアスポーツの育成強化としてバスケットボール人口の底上げを図り、家族や多世代の方に親しまれるよう、練習ゲームを一般公開する事業を実施。練習ゲームを行ったのは、いずれも女子チームで札幌山の手高校、新潟医療福祉大学、国体成年女子札幌選抜（北海道代表チーム）の３チームで、特に札幌山の手高校は、試合開始早々から上島正光コーチの気合いの入ったアドバイスを受け、本番さながらのプレーを見ることができ、駆けつけた町民はスーパープレイを食い入るように見ていました。

東京沼田会設立 25 周年事業

「ふるさと沼田」を訪問しました

沼田町出身者等で組織する東京沼田会（田坂勝芳会長）が、設立 25 周年を迎え夜高あんどん祭り見学を含めて沼田町を訪問しました。

訪問団は、田坂会長のほか会員 13 名が８月 24 日（土）に来町し夜高あんどん祭りを見学。勇壮な祭りに歓声をあげていました。

26 日（月）は、新しい沼田小学校を見学し、雪冷房が採用されている音楽室では「すずしい。これは良い。」と雪冷房の出口に手をあて、そのすずしさを実感していました。

見学し終えた田坂会長は「この小学校はすばらしい。明るさがとれていて、教室をオープンにしているところが良い」と語っていました。

まちのニュース
Numatatown News

第 12 回NHKすずらん記念「明日萌の里」全道パークゴルフ大会

第 12 回ＮＨＫすずらん記念「明日萌の里」全道パークゴルフ大会が、８月 29 日（木）町民パークゴルフ場で行われました。

これは、平成 11 年に沼田町をロケ地として放送されたＮＨＫ朝の連続テレビ小説「すずらん」を縁に開催されている大会で、参加者からとても好評です。

開会式で沼田町ＰＧ協会吉井会長から丁寧に協議説明があり、参加者 75 名がそれぞれのスタート地点に移動。雨も降らず絶好のコンディションの中、プレーを楽しみました。

成績は、次のとおりです。

男子	優　勝	青柳利雄（奈井江町）	準優勝	中川　渉（砂川市）	３位	中野宏秋（沼田町）
女子	優　勝	宇南山優子（妹背牛町）	準優勝	橋本隆子（東川町）	３位	数村泰子（沼田町）

第2回教育長杯争奪パークゴルフ大会

第２回教育長杯争奪パークゴルフ大会が８月 31 日（土）に町民パークゴルフ場で開催されました。

昨年度からパークゴルフの普及と親睦を目的として教育委員会が主催、ぬまたエンジョイスポーツクラブの主管で実施され、今年度も３人１チームで合計打数を争う団体の部と親（祖父母）と子どもが交互に打って楽しむ親子の部に分かれて 146 名の町民が参加しました。

参加者はパークゴルフ協会員の指導により、コースでのルールやマナーを学び、楽しみながらプレーしていました。

結果は、下記のとおりです。

第 2 回教育長杯争奪パークゴルフ大会結果

●団体の部（１８ホール）

	チーム名	合計打数	メンバー
優　勝	パワーズ	２０７	吾子トキ子・神田啓子・池川幸代
準優勝	ほたる	２０９	野道夫・藤村弘・浅野信行
第３位	建設課	２１３	村中博隆・土井佑起・宮沢勝

●親子の部（９ホール）運命（B）とは、プレー終了後にくじ引きをしたポイント数。

	チーム名	合計打数（Ａ）	運命（Ｂ）	再計（Ａ－Ｂ）
優　勝	渡辺博子・伊藤颯良	４８	１６	３２
準優勝	森田康弘・幸汰郎	４７	１４	３３
第３位	斉藤幸枝・未唯	５５	１２	４３

東１町内会で避難訓練が行われました

例年行われている「東１町内会夏のレクリエーション」の一環として、今年度は避難訓練が８月 31 日（土）に実施されました。

「私たちの避難場所はどこなの？」「実際に災害が起きたらどうすれば良いの？」そのような問題を解決することを目的に行われました。

約 40 名の参加者は、自宅から避難場所のふれあいすこやかホールに集合し、地域担当職員から、防災についての説明を受け、自然災害に対する日常からの心構えと準備の大切さを再認識していました。

訓練後は、講演会と紙芝居や焼肉パーティーといった盛りだくさんの内容で懇親を深めていました。

沼田町化石体験館5周年記念講演会とワークショップ

９月１日（日）、沼田町化石体験館の開館５周年を記念して講演とワークショップが開催されました。
当日は開催中の特別展「追え！！謎の生物デスモスチルス」の最終日に当たり、この特別展のためにデスモスチルスの復元画を提供してくださった、足寄動物化石博物館新村龍也学芸員を講師に迎え、「ここまでわかった！デスモスチルス」と題した講演をおこなっていただきました。
新村学芸員は若手ながら、これまでデスモスチルスだけでなくアショロカズハヒゲクジラなど、足寄に関係ある動物の復元を数多く手がけてこられた方です。講演にはジュニア化石クラブ会員のほか町民や、ホームページを見て来られたという札幌や旭川の方を含めて、20 名ほどの参加がありました。
新村さんは最近の研究成果を基に、これまであまり泳ぎが得意ではなかったと考えられていたデスモスチルスが、活発に泳ぎ回っている様子を描いた根拠について触れられました。また、日米のデスモスチルス研究における違いについても紹介され、全く違った復元画が描かれていることについても興味深く話していただきました。
後半のワークショップでは、今回テーマにするティラノサウルスは色だけでなく、羽毛があったかもしれないという点も含めてほとんどわかっていないので、自由に描いてくださいという説明がありました。そのおかげで、渋い色合いからカラフルなものまで、本当に様々な恐竜ができあがり、大人も子どももそれぞれに古生物を復元する楽しさに触れることができたようです。

沼田小学校校舎完成記念

「佐藤弘道さん特別授業」

昨年 12 月に完成した沼田小学校の校舎完成を記念して、９月２日（月）に沼田小学校体育館で「佐藤弘道さん特別授業」が実施されました。
佐藤弘道さんは NHK の幼児・子供向け教育番組『おかあさんといっしょ』第 10 代体操のお兄さんで、退任した現在も「弘道おにいさん」の愛称で親しまれております。
会場には、小学生の他に、保護者や一般町民、そして中学３年生の約 200 名が来場しており、「弘道おにいさん」の号令で、誕生月毎や血液型毎に集まったり、リズムにのって体操をしたりして、楽しみながら体を動かしていました。
最後に、藤森正男校長が「みんなで楽しい事をすると、学校生活も楽しくなります。」と挨拶をした後、学年毎に「弘道おにいさん」を囲んで、集合写真を撮影して終了しました。

消防合同訓練を行いました

９月２日（月）に消防合同訓練が町民体育館で行われました。
平成 11 年度より、沼田町における消防機関相互の連携を密に、消防技術の研さんに努め消防団員の士気高揚を図る事を目的に、毎年場所を変えて、９月第１週に実施しております。
今年度は合計 59 名の団員が町民体育館地下タンク棟からの出火を想定して、渡辺団長の指揮の下、第１分団から第３分団の各分団が連携をとりながら、消火作業の訓練を行っていました。

まちのニュース
Numatatown News

北海道巡回小劇場

子ども文化劇場事業「オズの魔法使い」

北海道巡回小劇場ミュージカル「オズの魔法使い」の公演が９月２日（月）沼田小学校体育館で行われました。
小学校と中学校の隔年で、本物の舞台芸術を身近に触れる機会を提供することを目的に実施されており、今年度は沼田小学校児童が鑑賞しました。
子ども達は、公演を通じて、自分や友達の良さに気付く事の大切さを学んでいました。

交流の幅が広がる

すくすく教室を行いました

９月４日（水）に、すくすく教室が健康福祉総合センター（ふれあい）和室で行われました。
すくすく教室は、２ケ月児～１歳児の乳児とその保護者を対象に、保護者同士の交流の幅を広げるきっかけ作りや育児についての疑問や不安の解消を図り、心身の健康を維持する事を目的に開催されております。
８組の参加者は、名前、月齢、住まいや最近の子どもの様子などの「自己紹介」をした後に、図書館司書による「絵本の読み聞かせ」や図書館事業の PR と、子育て支援センター保育士の指導のもと「ふれあい遊び」等を楽しんだ後、役場管理栄養士と保健師から「赤ちゃんの食事」の講話で、ベビーフードの活用方法、水分補給や生活のリズムについて学び、保護者同士の交流を図っておりました。

健康イチバン！大作戦

高齢者元気100倍！教室が行われました

平成 25 年度新規事業である高齢者元気 100 倍！教室が９月６日（金）に健康福祉総合センター（ふれあい）で行われました。
開講式から数えて７回目となる今回の内容は、役場管理栄養士による講話「バランスの良い食事で老化を防ごう！」と中野トモ子インストラクターによる実践「笑顔で健康♪ぴんぴん体操」でした。
参加者約 30 名は、日頃の食生活を振り返りながら講話に耳を傾けておりました。また、実践では、椅子に座りながら出来る音楽に合わせた運動を楽しみながら汗をかいていました。

沼田町農業委員会が

農地パトロール（利用状況調査）を行いました

沼田町農業委員会による農地パトロール（利用状況調査）が９月６日（金）に町内各地区で行われました。
農地パトロール（利用状況調査）は、食料の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図る必要がある事から、遊休農地の実態把握と発生防止・解消と農地の違反転用発生防止を目的に実施しております。
農業委員は、各地区担当の農業委員からの説明を受けながら、現地の利用状況を把握しておりました。また、空知農業普及センター北空知支所の職員から、品種ごとの特徴や開発状況など水稲作況状況についての説明も受けておりました。

家族との絆を確認

旭寿園ふれあい祭り

毎年恒例の旭寿園ふれあい祭りが９月７日（土）に旭寿園で行われました。

会場では、和風園やなごみの職員、役場青年女性部員、沼田すずらんの会会員の協力により屋台も出店されておりました。入所者は、それぞれの家族や親族と共に食事を楽しんでおりました。

食事後は、大正琴サークルによる演奏を堪能して、家族で安らぎのあるひとときを過ごしておりました。

絵本で広がる子どもの心

絵本の読み聞かせ「絵本作家かさいまりさん講演会」

絵本の読み聞かせ「絵本作家かさいまりさん講演会」が９月７日（土）に生涯学習総合センター（ゆめっくる）で行われました。

絵本作家のかさいまりさんは、楽しい、うれしい、淋しいなどの心のゆれを丁寧に表現した心情絵本をつくりつづけ、子どもから大人まで幅広い支持を得ており、読み語り用 CD により、独自の世界を展開し、全国各地にて講演、読み語りを行っています。

会場では、託児コーナーが設けられ、約 20 名の参加者が、６冊の作品ごとの制作にかける思いや裏話等のエピソードを聞きながら、BGM とモニターの画面を用いた絵本の読み聞かせを楽しんでいました。

文化次世代伝承事業

「昔ながらの行事食やお袋の味に関する料理講習会」

食文化次世代伝承事業として沼田町食生活改善協議会との共催で「昔ながらの行事食やおお袋の味に関する料理講習会」が９月７日（土）に健康福祉総合センター（ふれあい）で行われました。

食文化次世代伝承事業は、昔ながらの健康的な日本食文化が伝承される機会が失われつつある現状から、「沼田町食育推進基本計画」において、地場食材の使用拡大とお袋の味をはじめとする食文化の普及を掲げており、薄れゆく昔ながらの食文化等を後世へ伝える必要がある事から実施しております。

22 名の参加者は、テーマ「☆特別な日に作りましょう☆基本の行事食が大集合」のもと、実習メニューである「①おはぎ、②桜もち、③のり巻き、④いなり寿司、⑤伊達巻き」のレシピについて、食生活改善協議会会員から説明をうけ、参加者同士で協力をしながら調理講習をしていました。調理終了後、各グループに分かれて、バランスがよく上品な味わいの料理を試食しながら「日頃の健康や食生活」について、懇談していました。

なお、次回の食文化次世代伝承事業「昔ながらの行事食やお袋の味に関する料理講習会」は、10 月 26 日（土）10 時から健康福祉総合センター（ふれあい）で開催されます。テーマは、「☆和食の定番レシピを大胆リメイク☆２度美味しい和食レシピが大集合！」です。

★沼田町食育推進基本計画が4年目を迎えました★

沼田町では平成 22 年 3 月に、本計画を策定しました。しかし、まだまだ“食育”という言葉や計画で目標にしている食生活ポイント等も皆さんに十分浸透していないのではないかと思います。そこで今回は、町が進める食育計画のポイント等をお伝えしたいと思います。

目標は2つ

1．主食・主菜・副菜を中心にバランスを意識し１日３食を生活に定着させている住民の増加

日頃、妊婦さんや乳幼児期のお子さん、20～40 代の方々の栄養支援を行う中でも、朝食欠食や副菜(野菜料理)が不足している傾向が続いています。

2．食育に関心を持っている住民の意識継続と増加

“食育“はイベント的なもの、又は子どもに行うこととらえている方も多いようです。”食育”は健康な食生活を実践できる人々を育てることなのです

計画では特に、次代を担う 20～30 歳代若年期にも着目!!

これまでの主な取組み

- 妊娠期、乳幼児期への栄養支援
- 幼稚園、小学校との連携による食育事業
- 若年健診受診後の継続的栄養支援
- 町内各老人クラブでの栄養教室等
- 全町的食育事業(講演会・講習会等)
- 食生活改善協議会との連携による食育事業の実施　等

今後も、計画に基づき事業展開していきます。町民の皆様も“食育”に注目し、「朝ご飯は必ず食べる!」「毎食、野菜料理を欠かさない！」等、家庭で出来る事から実践してみて下さい。

【担当】管理栄養士　小松

ぽっこりお腹（下腹部）気になりませんか？

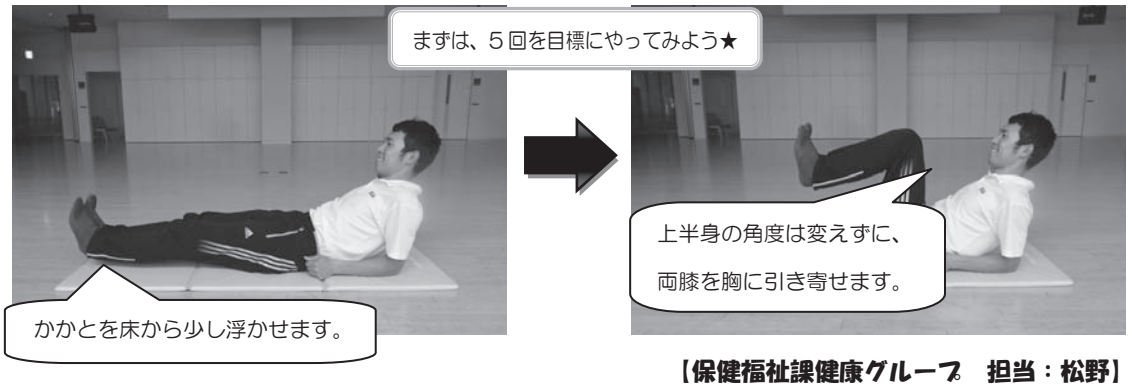
★お腹スッキリの筋トレ★

を紹介します。

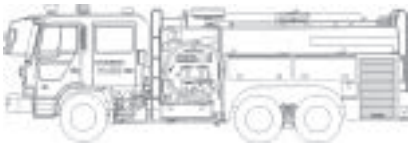
運動は呼吸をしながらゆっくり行います。

身体に痛みある場合は無理しないようにしましょう。

ぽっこりお腹（下腹部）や便秘改善に効果的な運動です。



【保健福祉課健康グループ　担当：松野】



消報

深川地区消防組合
深川消防署
沼田支署予防担当
TEL 35-2050

第２０回消防ちびっこ広場を開催

平成 25 年８月 31 日（土曜日）の 13 時から 15 時まで役場前駐車場で行いました。ちびっこ広場は、地震・火災や大雨などによる災害に対し、子供のころから防災に関心をもってもらうことを目的としており、子供約 120 名、大人約 40 名の参加がありました。
今年は、札幌市にある企業に参加を依頼し、日本に１台しかない消防車や災害時に使用するエアーテントを展示してもらい、来場者が興味深く見ていました。他にも放水体験や無料縁日、抽選会などを行ないました。

秋の火災予防運動が始まります！

10 月 15 日から 31 日までの期間、全道秋の火災予防運動が始まります。この季節は暖房機器の使用等により火災が発生しやすい時期を迎えることから、防火意識を高め、悲惨な事故や財産の損失を防ぐことを目的としています。

全国統一防火標語
消すまでは　心の警報　ONのまま

火災予防期間中に消防では、次のことを実施します。

①夜９時にサイレンの吹鳴
②全町防火パレード
③防火査察
④消防団出動訓練
⑤夜間車両巡回

※暖房器具を使用する前に点検を行いましょう！

『警報器　あなたの危険　知らせます』
大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

沼田警察署あんぜん広場

NumataPolice

TEL 35- 3110

全国地域安全運動と安心・安全なまちづくりの日のお知らせ
～みんなで築こう、安全で安心な大地～

10 月 11 日の「安全・安心まちづくりの日」の日から 20 日までの 10 日間、「平成 25 年全国地域安全運動」を実施します。

この運動重点は、

○　住宅を対象とする侵入窃盗の被害防止
○　子ども・女性対象犯罪の被害防止
○　特殊詐欺の被害防止

です。

住宅を対象とする侵入窃盗の被害防止のため、短時間の外出でも必ず施錠をし、ドアや窓には補助錠を付けるようにしましょう。

子ども対象犯罪の被害防止のため、『いかのおすし』

○『いか』･･･ 知らない人について『いか』ない
○『の』･･･ 知らない人の車に『の』らない
○『お』･･･『お』おごえでさけぶ
○『す』･･･『す』ぐ逃げる
○『し』･･･ おうちの人に『し』らせる

などを使った防犯指導を繰り返し行い、登下校時には見守り活動を行いましょう。

女性対象犯罪の被害防止のため、夜間に人通りの少ない道を歩くのを避け、イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作しながら歩いたりしないようにしましょう。

拳銃などの違法銃器を根絶しましょう
～ 拳銃のない安全・安心な社会は道民の願い ～

拳銃を使用した凶悪犯罪は依然としてあとを絶ちません。

道警では、「拳銃のない安全・安心な社会」をつくるため、拳銃等に関する情報を専用フリーダイヤル「0120－10－3774」（ジュウ　ミナナシ）で 24 時間受け付けています。また、「拳銃 110 番報奨制度」により、実名･匿名を問わず、寄せられた情報に基づいて拳銃を押収して被疑者を検挙した場合、情報を提供していただいた方に報奨金をお支払いしています。みなさんのご協力をお願いします。

みなさんの家に、戦時中に使用されていた軍用銃は眠っていませんか？

軍用銃は、大事な形見や遺品であっても所持することは法律に違反し、子どもがもてあそんで大きな事故につながったり、盗まれて犯罪に使用される危険性もあります。

発見の際は、警察に通報をお願いします。

沼田町の事件・事故の発生状況

犯罪の発生状況

（８月末現在）

		車上ねらい	倉庫荒し	忍び込み	万引き	置引き	タイヤ・オートバイ盗	自転車盗	鉄板盗	その他	合計
沼田町	Ｈ 25	2	1	1	1	1	1	0	2	1	１０
	Ｈ 24	0	0	0	0	0	5	1	1	0	7

交通事故の発生状況

町内における交通事故件数　（８月末現在）

人身事故		物損事故	
平成 25 年	5	平成 25 年	６０
平成 24 年	6	平成 24 年	６７

町民が町外で第１当事者となった人身事故件数（８月末現在）

平成 25 年	1
平成 24 年	5

物損事故の主な原因のワースト３は、前方不注視、後方不注視、ブレーキ操作の不適です。

日が沈むのが早くなってきました。早めにライトを点灯して、安全に走行しましょう。

生涯学習

ゆめっくる

子ども達の
生きる力を育む！

自然体験キャンプ

積丹町　7/29・30　小平町　8/5・6　に行ってきました！

教育委員会では、様々な野外体験を通し子ども達の生きる力を育むとともに、水・海への正しい知識と理解、安全について学ぶことを目的に自然体験キャンプを実施しました。子ども達のいきいきとした姿をご紹介します！

積丹

５・６年生対象　３０名参加

自然体験キャンプ第１弾は５・６年生対象で積丹町において実施しました。北海道で一番と言われる綺麗な海でシュノーケリングやボート搭乗体験など海洋レクリェーションの他、海洋学習やライフセーバーによる救助訓練などを行いました。

昆布をかブり！

救助者のもとへ GO ！

シュノーケリング！

海洋学習！
みんな真剣に学んでいます

ボートにのって、とっておきの
シュノーケリングポイントへ！

この他にも野外炊飯やテント泊、ナイトウォークなど盛りだくさんの内容でした！参加者の感想は**「みんなと、普段体験できないことができて楽しかった。沼田に帰って、家族に自慢したい！」**と話していました。

小平

３・４年生対象　３９名参加　　中学生　１６名参加　　合計５５名

第２弾は３・４年生対象で小平町にて行われました。第２弾は、今までキャンプを経験してきた中学生がサブリーダーとしてお手伝いに来てくれています。とても心強かったです。内容は野外炊飯やカヌー体験、キャンプファイヤーなどを行いました。晩御飯のカレーは、一人が２人前以上をペロリと食べてしまいました。自分たちで作ったご飯はやっぱり格別なんですね！

子どもはテントが大好き！

カレーはあっという間に…

司書のイチオシ!

『星をさがす本』

夜高あんどん祭も終わり、秋も深まってきました。だんだんと夜も長くなってきましたね。そんな、秋の夜長にオススメなのは、天文観測。秋の夜空に輝いている星を、じっくり観ているだけで心が落ち着いてきます。

秋の星座といえば、十二星座のやぎ座・みずがめ座・うお座、Wの形をしたカシオペヤ座やなどがあげられます。

秋の星座は明るい星が少なく他の季節に比べると地味な印象を受けますが、星座神話を読みながら秋の夜空を見上げると、秋の夜空は壮大なストーリーが広がっているのです。

春・夏・冬にはあるのに秋にはないものがあります。大三角です。大三角とはそれぞれの星座の１等星を頂点として結んだもののことを指します。春はしし座のデネボラ・うしかい座のアルクトゥルス・おとめ座のスピカを結び“春の大三角”、夏ははくちょう座のデネブ・わし座のアルタイル・こと座のベガを結び“夏の大三角”、冬はこいぬ座のプロキオン・おおいぬ座のシリウス･オリオン座のベテルギウスを結び“冬の大三角”とそれぞれ呼んでいます。秋には大三角がないかわりに、ペガスス座に四辺形があります。せっかく星をきれいに見ることができる地域に住んでいるのですから、星を探してみてください。星や星座に関する本は図書館に揃っていますので、図書館に来館された際は、ぜひ手に取ってみてください。

新刊図書

≪一般書≫

千両かんばん	山本　一力
たぶんねこ	畠中　恵
死神の浮力	伊坂　幸太郎
水のかたち　上・下	宮本　輝
愛ふたたび	渡辺　淳一
無垢の領域	桜木　紫乃
非営利組織の経営	Ｐ．Ｆ．ドラッカー
あたしンち　１８巻	けら　えいこ
銀の匙　８巻	荒川　弘
うる星やつら　５巻・６巻	高橋　留美子
パークゴルフがもっと面白くなる！	のしろや　秀樹

≪児童書≫

ぼたんちゃん	かさい　まり
いつもいっしょ	かさい　まり
えほん日本国憲法	野村　まり子
ハナちゃんのトマト	市川　里美
１０分で読める伝記５年生	塩谷　京子
１０分で読める伝記６年生	塩谷　京子
１０分で読めるこわい話	熊谷　多津子

新刊図書これがおすすめ!!

『ホテルローヤル』　桜木　紫乃

湿原を背に建つ北国のラブホテル。客、経営者家族、従業員はそれぞれ問題を抱えていた。「非現実」を求め、扉を開いた彼らの心の機微を鮮やかに描く。
第１４９回直木賞受賞作品。

『爪と目』　藤野　可織

娘と継母。父。喪われた母―。家族、には少し足りない集団に横たわる嫌悪と快感を律動的な文体で描く、純文学的ホラー。表題作ほか全３編を収録。
第１４９回芥川賞受賞作品。

『さよならまたね』　かさい　まり

なかよしのクッキーが明日ひっこしするなんて…。さよならって言ってもまた会えた。いつもいつもまた会えた。でも今度のさよならはもう会えない。さよならなんて僕いやだよ。

広報ぬまた 第五七二号
二〇一三年九月二十六日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ 沼本 電話〇一六四―三五―二一一一

「子育て講演会」

沼田町子育て支援センター主催の「子育て講演会」が９月７日（土）に生涯学習総合センター（ゆめっくる）で行われました。

８組の参加者は、演題の「親子の気持が通じ合うコミュニケーション」について、講師の（財）生涯学習開発財団認定コーチの石谷二（ふ）美（み）枝（え）先生から「子供に対し、『生まれてきてくれてありがとう』の気持ちで接する事で、その存在意義を認めてほしい」との講演を聞いていました。その後、各グループに分かれて「上手な話の聞き方」について、聞き役と話し役に分かれて参加者同士の交流を図りながら、学んでいました。

国道の美化活動をボランティアで行いました

国、道の財政難により、歩道縁石に生えている雑草の除去がされておらず、生え放題となっており状況であり、夜高あんどん祭りに多くの観光客を迎え入れるには、非常に見苦しい状況であることから、気持ちよく観光客を迎え入れたいため、８月12日（月）自治振興協議会（横山忠男会長）が主催した、道路環境美化ボランティア活動が行われました。

横山会長が挨拶で「国にはお願いしているが、予算が無くなかなか雑草の除去がされていない状況です。今日は、皆さんに集まっていただきありがとうございます。ケガの無いようお願いします」と話し、集まった町民等のボランティアに、国道の工事等を請け負っている水島建設工業㈱と光栄建設工業㈱の社員が加わった約60名が清掃活動を行いました。

その他に、渡部建設㈱、道興加茂㈱、岩倉・橋本川島ＪＶ、妻神工業、桜井・千田ＪＶが町内各所の草刈りボランティアを行いました。

人の動き

人口 3,460人（前月比△１人）
（男性 1,641人 女性 1,819人）
65歳以上 1,312人（高齢化率37.9％）
世帯数 1,600戸（前月比 ＋１戸）
○総人口増減内訳
増加…転入：10人 出生：０人
減少…転出：３人 死亡：８人
（平成25年８月30日現在）

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
成瀬 政夫さん	８月 ４日	93歳	旭寿園
江口 ミツさん	８月 ８日	84歳	仲町西
中澤 梅子さん	８月18日	94歳	旭寿園
飯田 和雄さん	８月18日	79歳	市内１北
橋爪 敏夫さん	８月25日	91歳	緑ケ丘
高松 慶子さん	８月26日	79歳	市内１北
原 由美さん	８月27日	65歳	更新
生田 鶴子さん	９月 ３日	91歳	北竜３
北村ヨシ子さん	９月 ６日	88歳	西町
林 茂 さん	９月11日	89歳	和風園

今月号の赤ちゃんです。

すくすく育ってね！

片山 心（こころ）ちゃん（次女）
７月17日生まれ
お父さん 賢
お母さん 華之子
（市内５）

交通事故死ゼロ

420日

継続中！

（平成25年９月１日現在）

この広報誌は再生紙と大豆インクを利用しています。